

各位

会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 山下 尚登
 (コード番号 9265 東証第一部)
 問合せ先 取締役 伊藤 秀憲
 (TEL 092-726-8200)

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

山下医科器械株式会社(本年12月1日をもって完全子会社化)は、最近の業績動向を踏まえ、平成29年7月11日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,571	4	41	23	9.27
今回発表予想(B)	27,628	△36	13	17	6.95
増減額(B-A)	57	△41	△28	△5	
増減率(%)	0.2	—	△67.8	△23.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年5月期第2四半期)	24,339	6	34	8	3.59

2. 修正の理由

平成30年5月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正

本年度第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、SPD事業の拡大に伴い、一般消耗品分野における医療機器消耗品や低侵襲治療分野における消耗品等の売上が増加するとともに、透析事業を主力とする株式会社トムスをグループ化したこと等により、全体としての売上高は前年同期を上回って推移しております。

一方、病院建て替え等の大型設備案件とそれに伴う設備投資が予想より少なく、一般機器分野における手術室関連機器等の医療機器備品や放射線機器等の売上高が予想を下回ったため、全体的な利益率の低下により売上総利益が予想を下回る見込みとなりました。

また、販売費及び一般管理費におきましては、前年度増加した消耗品費等の節減に努めておりますが、物流会社の値上げに伴う物流コストの増加等も影響し、全体としてはほぼ前年並みで推移しております。

それらの結果、当第2四半期連結累計業績予想における営業利益は赤字となり、経常利益、および親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ期初予想を下回る見込みとなりました。

なお、年度の後半には機器需要の回復が見込まれるため、通期における業績見通しについては、現時点で変更ありません。

以上